



平成 23 年 6 月 10 日

各 位

上場会社名 株式会社学情  
代表者 代表取締役社長 中井清和  
(コード番号 2301 東証第一部)  
問合せ先責任者 管理部  
ゼネラルマネージャー 瀬川哲矢  
(TEL06-6346-6830)

## 第 2 四半期累計期間の業績予想値と第 2 四半期決算値との 差異に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月 11 日に公表いたしました、平成 23 年 10 月期（平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日）の第 2 四半期累計期間の業績予想値と本日発表の第 2 四半期決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 23 年 10 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と第 2 四半期決算値の差異

(平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,329	157	200	115	9 円 49 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	1,329	65	117	65	5 円 23 銭
増 減 額 (B-A)	0	△91	△82	△49	—
増 減 率 (%)	0	△58.4	△41.3	△43.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 10 月期第 2 四半期)	880	△30	47	10	0 円 82 銭

#### 2. 差異の理由

当第 2 四半期累計期間（平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日）におけるわが国経済は、新興国に加え米国など先進諸国の需要増加に伴い回復基調をたどっておりました。しかしながら、平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、東北地方を中心に甚大な被害を被るとともに、わが国の企業活動・経済活動・国民生活全般に大きな衝撃を与えることとなりました。またその影響は、今後も予断を許さない事態となっております。

このような経済環境の中、雇用情勢につきましては、2 月までは完全失業率・有効求人倍率ともに緩やかな改善傾向を示しつつありましたが、大震災以降は業績に与える影響が読みきれないこともあり、中途採用や非正規雇用を中心に採用を手控える企業が少なからず現れ、全国的に求人需要に減速感が漂いました。

当社では「既存顧客のフォローと新規取引先開拓に注力」「若手社会人・第 2 新卒事業の再構築」、「グローバル人材採用事業の確立」、「官公庁からの委託業務を確実に遂行し、雇用創出に貢献する」等の全社方針

の下、大手から中堅・中小企業にいたるまで、中途採用・新卒採用にかかわらず、あらゆる採用ニーズを捉え売上の拡大を図るため営業活動を展開してきました。

中でも従前より取り組みの強化を図っております公的機関からの人材育成・就職支援事業は、今までの実績と信用を元に横展開営業を精力的にすすめ、その努力が功を奏し他の公的機関からの受託に繋がるという好循環を生み出しております。しかしながら、民間企業の新卒採用意欲は力強さに欠ける展開が続き、主力の「就職博」を始めとする新卒採用商品はやや苦戦を強いられることとなりました。

以上の結果、利益において期初に見込んでおりました予想を下回る結果となりました。

なお、平成 23 年 10 月期通期業績予想の変更はありません。

以 上